



「息子がいつも $5+3=7$ と間違えます」という母親からのツイート

- 半年前に Twitter に投稿されていたこのツイート。
- 子供の言い分としては、数字に色がついているんだとか。5が深緑、3が黄色、7が黄緑。つまり、「これらの色を混ぜたらどんな色になる?」という問題だったら正解ですよね。
- このように、数字に色がついて見えたりすることを「**共感覚**」というそうです。通常の感覚に加えて別の感覚が無意識に引き起こされる現象のこと。
- 他にもパターンがあり、文字に色がついていたり、音を聞くと色を感じたり。
- なんともカラフルな世界に生きている人達もいるんですね。

$$5 + 3 = 7$$

$$5 + 3 = 7$$

特に原因が思いあたらないのにギックリ腰になってしまう時

- ギックリ腰というと、重いものを持ったときに「ギクッ!」と腰が砕けるような音がして動けなくなってしまうもの、というイメージを持っている人は結構多い気がします。
- しかし、きっかけが思いあたらないギックリ腰もかなり多いです。原因としては、疲労がいつの間にか溜まっていて、それが限界を超えたため。
- このようなことを例える英語のことわざがあります。

the straw that broke the camel's back

- 直訳すると「ラクダの背中を折る最後のわら」。わらの一本一本は重くないが、ラクダにわらを乗せ続けた結果、ついには最後に乗せた1本のわらでラクダの背が折れたということ。
- 日本のことわざの「堪忍袋の緒が切れた」のような使われ方もしているようです。



ギックリ腰の防止には、疲労が限界を超えないことが大切なので、自分の身体に対する感度を上げることが必要です。身体の状態がどの程度なのかを早期に自覚できれば、致命傷になる前に対処できます。そのためには、日頃からの身体のケアが重要です。運動をしたり、ストレッチをしたり、整体をうけたり。身体に対するセンサーをボケさせないこともボケ防止かと思われます。

院内で流れているBGMについて

平成28年の夏からなので、3年半ずっと同じものを流し続けています（ちなみに店がオープンしたのは平成27年の夏）。電子音なので、「なんかゲームの音楽みたいのが流れていますね」とたまにお客さんから言われたりします。

・富田勲 「月の光」 1974年にシンセサイザーを用いて制作されたアルバム

富田さんはシンセサイザーアーティストで、日本人で初めて米グラミー賞にノミネートされるなど世界的な評価を受けています。

といつても、私は全く知りませんでした。知ったきっかけは、糸川英夫さんと富田さんが交流があったエピソードをどこかで読んで興味を持ち、Youtube である動画を見つけたから。その動画は、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』を初音ミクがソリスト、オーケストラと合唱団、そしてCGで表現したもの。



・富田勲×初音ミク 「イーハトーヴ交響曲」 銀河鉄道の夜 →



初めてみたときに、この動画の幻想的な世界にコロッとハマってしまいました。それと同時に、「あへ、宮沢賢治にはまる人は、こういう感覚を文章から感じているのかもなあへ」と思ったわけです。

私は、宮沢賢治が好きな人はドップリはまっているイメージがあったので何冊か読んだことがあるのですが、マイチよさがわからず、「なんでこの文章にはまるのかなへ」と理解できませんでした。特に『銀河鉄道の夜』は代表作でしょうから何度も読み返しましたがピンとこない。

でも、この動画を見てピンときたんですね。賢治の文章は音楽的なのではないかと。文章がメロディーを想起させるのではないかと。そんな文章は多くはないでしょうから、はまる人はドップリはまる。3年前はそう一人で納得しました。

そして、半年前に『共感覚』なるものを知り、あれこれ検索しているうちに、宮沢賢治も共感覚の持主ということを知って、「なるほどね」と腑に落ちたわけです。きっと、賢治の文章は、音楽的だけでなく、色彩的でもあり、形狀的でもあったりするのでしょうか。残念ながら、私は賢治の文章からはそういうのを感じとれないのですが、賢治の世界観を表現してくれた富田さんにドップリはまつた次第です。

そして、BGMに電子音を選んだのは、私が眠くならないためでもあります。癒し系の音楽を流していると、施術をしている私が眠くなる危険があるので。.

編集後記 「堪忍袋の緒が切れた」ときの音って聞いたことがありますか？「アツッ」というのが私の感覚です。あれは脳の血管が切れているんですね？となると、むやみに切らないほうが健康上はよさそうです。そして、緒が脳血管だとしたら、堪忍袋は脳に存在するのでしょうか？我慢している感じからするとお腹にありそうな気もしますが。

【大泉】